

「橋梁架設工事の積算 令和7年度版」正誤表

頁	訂正箇所	誤	正																																																																																																																														
P4-60	4.6床版取替工 4.6.2施工歩掛 (14)プレキャストPC床版 表4-6-17	<p>(14) プレキャストPC床版 1) プレキャストPC床版設置工 プレキャストPC床版設置工の歩掛は、次表を標準とする。 なお、適用できる床版は1枚あたりの質量9,000kg以下とする。</p> <p>表4-6-17 プレキャストPC床版設置工歩掛 (床版設置面積10m²当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">規格</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">数量</th> </tr> <tr> <th>非合成桁</th> <th>合成桁</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋りょう世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.7</td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.7</td> <td>1.9</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.4</td> <td>1.4</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.2</td> <td>1.7</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン賃料</td> <td>排出ガス対策型 油圧式25t吊</td> <td>H</td> <td>0.2</td> <td>0.2</td> </tr> <tr> <td>諸雑費率</td> <td></td> <td>%</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 床版連結に含まれる緊張は現場架設後に橋軸方向に緊張する場合である。 なお、現場で緊張作業を行わないプレキャストPC床版(RC床版)を設置する場合は、別途積算とする。 2. プレキャストPC床版、PC鋼線・定着装置・シール材料、注入材料(PCグラウト)、スタッドジベル、充填材(無収縮モルタル、ジェットコンクリート等)は必要量を別途計上する。 3. 諸雑費は、緊張ジャッキポンプ、ハンドミキサー、スタッド溶接機、グラウトポンプ、コンクリートバイブレータの損料、その他設置用の機械器具費及び電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 4. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。なお、規格は油圧式25t吊を標準とする。 5. 施工条件によりプレキャストPC床版の仮置きが必要な場合は、別にクレーンと横持用トラックを計上する。 6. 交通開放のための結合金具(板バネ等)が必要な場合は別途計上する。 7. 床版取替の場合の日当り施工量は、18m²/日とする。</p>	名称	規格	単位	数量		非合成桁	合成桁	橋りょう世話役		人	0.7	0.8	橋りょう特殊工		〃	1.7	1.9	特殊作業員		〃	1.4	1.4	普通作業員		〃	1.2	1.7	ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型 油圧式25t吊	H	0.2	0.2	諸雑費率		%	3	4	<p>(14) プレキャストPC床版 1) プレキャストPC床版設置工 プレキャストPC床版設置工の歩掛は、次表を標準とする。 なお、適用できる床版は1枚あたりの質量9,000kg以下とする。</p> <p>表4-6-17 プレキャストPC床版設置工歩掛 (床版設置面積10m²当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">規格</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">数量</th> </tr> <tr> <th>非合成桁</th> <th>合成桁</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋りょう世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.7</td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.7</td> <td>1.9</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.4</td> <td>1.4</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.2</td> <td>1.7</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン賃料</td> <td>機種選定</td> <td>H</td> <td>0.2</td> <td>0.2</td> </tr> <tr> <td>諸雑費率</td> <td></td> <td>%</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 床版連結に含まれる緊張は現場架設後に橋軸方向に緊張する場合である。 なお、現場で緊張作業を行わないプレキャストPC床版(RC床版)を設置する場合は、別途積算とする。 2. プレキャストPC床版、PC鋼線・定着装置・シール材料、注入材料(PCグラウト)、スタッドジベル、充填材(無収縮モルタル、ジェットコンクリート等)は必要量を別途計上する。 3. 諸雑費は、緊張ジャッキポンプ、ハンドミキサー、スタッド溶接機、グラウトポンプ、コンクリートバイブレータの損料、その他設置用の機械器具費及び電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 4. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。機種は作業半径、吊上げ荷重により決定する。 5. 施工条件によりプレキャストPC床版の仮置きが必要な場合は、別にクレーンと横持用トラックを計上する。 6. 交通開放のための結合金具(板バネ等)が必要な場合は別途計上する。 7. 床版取替の場合の日当り施工量は、18m²/日とする。</p>	名称	規格	単位	数量		非合成桁	合成桁	橋りょう世話役		人	0.7	0.8	橋りょう特殊工		〃	1.7	1.9	特殊作業員		〃	1.4	1.4	普通作業員		〃	1.2	1.7	ラフテレーンクレーン賃料	機種選定	H	0.2	0.2	諸雑費率		%	3	4																																																				
名称	規格	単位				数量																																																																																																																											
			非合成桁	合成桁																																																																																																																													
橋りょう世話役		人	0.7	0.8																																																																																																																													
橋りょう特殊工		〃	1.7	1.9																																																																																																																													
特殊作業員		〃	1.4	1.4																																																																																																																													
普通作業員		〃	1.2	1.7																																																																																																																													
ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型 油圧式25t吊	H	0.2	0.2																																																																																																																													
諸雑費率		%	3	4																																																																																																																													
名称	規格	単位	数量																																																																																																																														
			非合成桁	合成桁																																																																																																																													
橋りょう世話役		人	0.7	0.8																																																																																																																													
橋りょう特殊工		〃	1.7	1.9																																																																																																																													
特殊作業員		〃	1.4	1.4																																																																																																																													
普通作業員		〃	1.2	1.7																																																																																																																													
ラフテレーンクレーン賃料	機種選定	H	0.2	0.2																																																																																																																													
諸雑費率		%	3	4																																																																																																																													
P3-224	3.6.13-(3) トラス梁特殊支保工 単価3-76号表	<p>単価3-76号表 トラス梁特殊支保工 (トラス梁特殊支保工100空m³当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>単価</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋りょう世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>表3-6-118</td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン賃料</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型 50t吊</td> <td>H</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>トラス梁特殊支保 仮設材損料</td> <td>開口部延長 m 支保耐力 kN/m²(t/m²) 支保高さ m</td> <td>空m³</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>表3-4-63</td> </tr> <tr> <td>修理費及び損耗費</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>表3-4-64</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	橋りょう世話役		人				表3-6-118	橋りょう特殊工		〃				〃	普通作業員		〃				〃	ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型(第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型 50t吊	H				〃	トラス梁特殊支保 仮設材損料	開口部延長 m 支保耐力 kN/m ² (t/m ²) 支保高さ m	空m ³				表3-4-63	修理費及び損耗費		〃				表3-4-64	諸雑費		式	1				計							<p>単価3-76号表 トラス梁特殊支保工 (トラス梁特殊支保工100空m³当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>単価</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋りょう世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>表3-6-118</td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン賃料</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型 50t吊</td> <td>H</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>トラス梁特殊支保 仮設材損料</td> <td>開口部延長 m 支保耐力 kN/m²(t/m²) 支保高さ m</td> <td>空m³</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>表3-4-63</td> </tr> <tr> <td>修理費及び損耗費</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>表3-4-64</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>トラス梁特殊支保 仮設材損料、修理費及び損耗費の摘要欄(表3-4-63、表3-4-64)を削除</p>	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	橋りょう世話役		人				表3-6-118	橋りょう特殊工		〃				〃	普通作業員		〃				〃	ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型(第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型 50t吊	H				〃	トラス梁特殊支保 仮設材損料	開口部延長 m 支保耐力 kN/m ² (t/m ²) 支保高さ m	空m ³				表3-4-63	修理費及び損耗費		〃				表3-4-64	諸雑費		式	1				計						
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要																																																																																																																											
橋りょう世話役		人				表3-6-118																																																																																																																											
橋りょう特殊工		〃				〃																																																																																																																											
普通作業員		〃				〃																																																																																																																											
ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型(第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型 50t吊	H				〃																																																																																																																											
トラス梁特殊支保 仮設材損料	開口部延長 m 支保耐力 kN/m ² (t/m ²) 支保高さ m	空m ³				表3-4-63																																																																																																																											
修理費及び損耗費		〃				表3-4-64																																																																																																																											
諸雑費		式	1																																																																																																																														
計																																																																																																																																	
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要																																																																																																																											
橋りょう世話役		人				表3-6-118																																																																																																																											
橋りょう特殊工		〃				〃																																																																																																																											
普通作業員		〃				〃																																																																																																																											
ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型(第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型 50t吊	H				〃																																																																																																																											
トラス梁特殊支保 仮設材損料	開口部延長 m 支保耐力 kN/m ² (t/m ²) 支保高さ m	空m ³				表3-4-63																																																																																																																											
修理費及び損耗費		〃				表3-4-64																																																																																																																											
諸雑費		式	1																																																																																																																														
計																																																																																																																																	
P2-175	2.5.3 供用日数 表2-5-47注)12	<p>11. ベント基礎に鋼板を用いる場合は、作業用クレーンの運転日数に基礎にかかる運転日数も計上するものとする。 12. ケーブルクレーン工法、ケーブルエレクション工法、その他工法にて80t吊以上の作業クレーンを使用する場合は運転日数に1.2を乗じることができる。 13. 現場塗装での供用日数算出に際しては国土交通省土木工事標準積算基準書の以下による。 第VI編第1章③橋梁塗装工：日当たり標準施工量。 14. 素地調整の所要日数算出方法 素地調整面積を標準施工量で除し、小数点第1位を切り上げて整数値としたものを素地調整の所要日数とする。 15. 塗装の所要日数算出方法 塗装面積を標準施工量で除し、小数点第1位を切り上げて整数値としたものを1層当りの所要日数として、層数が複数回の場合は上記に塗装回数に乗じる。</p>	<p>11. ベント基礎に鋼板を用いる場合は、作業用クレーンの運転日数に基礎にかかる運転日数も計上するものとする。 12. ケーブルクレーン工法、ケーブルエレクション工法、その他工法にて80t吊以上の作業クレーンを使用する場合は運転日数に1.4を乗じることができる。 13. 現場塗装での供用日数算出に際しては国土交通省土木工事標準積算基準書の以下による。 第VI編第1章③橋梁塗装工：日当たり標準施工量。 14. 素地調整の所要日数算出方法 素地調整面積を標準施工量で除し、小数点第1位を切り上げて整数値としたものを素地調整の所要日数とする。 15. 塗装の所要日数算出方法 塗装面積を標準施工量で除し、小数点第1位を切り上げて整数値としたものを1層当りの所要日数として、層数が複数回の場合は上記に塗装回数に乗じる。</p> <p>誤)1.2 → 正)1.4</p>																																																																																																																														

P2-183	<p>2.5.5 鋼製橋脚工 (3)設置歩掛 1)アンカー フレーム架設 工 表2-5-61 注)7</p>	<p>A：アンカーフレーム架設数（基） (注) 1. 本歩掛は、アンカーフレーム架設に伴う架設用架台の設置から調整及びアンカーフレーム内グラウト注入を含む。 2. アンカーフレーム及びアンカーボルトを分割し搬入、現場溶接にて接合する場合は別途考慮する。 3. 諸雑費は、溶接棒、架設用架台の材料、グラウトポンプ、グラウトミキサ、架設工具の損料、電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 4. グラウト注入材料は、別途計上する。 5. 諸雑費の内訳は上記3の内訳及びナット溶接に伴う溶接棒、足場の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 6. 下記のいずれかに該当する場合に適用する。 ・1基当たりのアンカーフレームとアンカーボルトの合計質量が18tonを超える場合。 ・アンカーフレーム外寸またはアンカーボルト長が3.5mを超える場合。 7. 上記5に該当し、更に上下各アンカーフレームを半割など分割し搬入、現場溶接にて接合する場合は、下記を参照及び考慮する。 1) 現場溶接には鋼製橋脚工の現場溶接工の歩掛を参照。 2) 現場溶接時の溶接架台は大型箱桁・溶接構造箱桁用地組架台設備の歩掛を参照。 3) クレーンの運転日数は現地条件に合わせ別途考慮する。</p>	<p>A：アンカーフレーム架設数（基） (注) 1. 本歩掛は、アンカーフレーム架設に伴う架設用架台の設置から調整及びアンカーフレーム内グラウト注入を含む。 2. アンカーフレーム及びアンカーボルトを分割し搬入、現場溶接にて接合する場合は別途考慮する。 3. 諸雑費は、溶接棒、架設用架台の材料、グラウトポンプ、グラウトミキサ、架設工具の損料、電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 4. グラウト注入材料は、別途計上する。 5. 諸雑費の内訳は上記3の内訳及びナット溶接に伴う溶接棒、足場の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 6. 下記のいずれかに該当する場合に適用する。 ・1基当たりのアンカーフレームとアンカーボルトの合計質量が18tonを超える場合。 ・アンカーフレーム外寸またはアンカーボルト長が3.5mを超える場合。 7. 上記6に該当し、更に上下各アンカーフレームを半割など分割し搬入、現場溶接にて接合する場合は、下記を参照及び考慮する。 1) 現場溶接には鋼製橋脚工の現場溶接工の歩掛を参照。 2) 現場溶接時の溶接架台は大型箱桁・溶接構造箱桁用地組架台設備の歩掛を参照。 3) クレーンの運転日数は現地条件に合わせ別途考慮する。</p> <p style="text-align: center;">誤)上記5 → 正)上記6</p>
--------	--	--	--

P2-317	<p>2.9.5 送出し工法 2)送出し工 主桁の送出し 工明細書の 数量根拠</p>	<p style="text-align: center;">主桁の送出し工明細書の数量根拠</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">移動距離 (m)</th> <th rowspan="2">所要日数 (日)</th> <th colspan="2">労務編成</th> <th colspan="2">労務工数 (人)</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>橋りょう世話役</th> <th>橋りょう特殊工</th> <th>橋りょう世話役</th> <th>橋りょう特殊工</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>P1橋脚</td> <td>50.0</td> <td>9.5</td> <td>2</td> <td>10</td> <td>19.0</td> <td>95.0</td> <td>受け点数：P₀=4</td> </tr> <tr> <td>P2橋脚</td> <td>50.0</td> <td>7.0</td> <td>2</td> <td>10</td> <td>14.0</td> <td>70.0</td> <td>送出しヤード上の台車数：N₂₀=2 惜しみ箇所数：q₁₀=2</td> </tr> <tr> <td>P3橋脚</td> <td>50.0</td> <td>5.0</td> <td>2</td> <td>10</td> <td>10.0</td> <td>50.0</td> <td>橋りょう世話役：P₀≥4より2 橋りょう特殊工：</td> </tr> <tr> <td>P4橋脚</td> <td>40.0</td> <td>3.0</td> <td>2</td> <td>10</td> <td>6.0</td> <td>30.0</td> <td>(P₀×2)+2=(4×2)+2=10</td> </tr> <tr> <td>手延機・連結構</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>台車設備</td> <td></td> <td>9.5</td> <td></td> <td>4</td> <td></td> <td>38.0</td> <td>P₀÷2×N₂₀=4÷2×2=2</td> </tr> <tr> <td>惜しみ装置</td> <td></td> <td>9.5</td> <td></td> <td>4</td> <td></td> <td>38.0</td> <td>q₁₀×2=2×2=4</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>49.0</td> <td>321.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	移動距離 (m)	所要日数 (日)	労務編成		労務工数 (人)		備 考	橋りょう世話役	橋りょう特殊工	橋りょう世話役	橋りょう特殊工	P1橋脚	50.0	9.5	2	10	19.0	95.0	受け点数：P ₀ =4	P2橋脚	50.0	7.0	2	10	14.0	70.0	送出しヤード上の台車数：N ₂₀ =2 惜しみ箇所数：q ₁₀ =2	P3橋脚	50.0	5.0	2	10	10.0	50.0	橋りょう世話役：P ₀ ≥4より2 橋りょう特殊工：	P4橋脚	40.0	3.0	2	10	6.0	30.0	(P ₀ ×2)+2=(4×2)+2=10	手延機・連結構								台車設備		9.5		4		38.0	P ₀ ÷2×N ₂₀ =4÷2×2=2	惜しみ装置		9.5		4		38.0	q ₁₀ ×2=2×2=4	合 計					49.0	321.0		<p style="text-align: center;">主桁の送出し工明細書の数量根拠</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">移動距離 (m)</th> <th rowspan="2">所要日数 (日)</th> <th colspan="2">労務編成</th> <th colspan="2">労務工数 (人)</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>橋りょう世話役</th> <th>橋りょう特殊工</th> <th>橋りょう世話役</th> <th>橋りょう特殊工</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>P1橋脚</td> <td>50.0</td> <td>9.5</td> <td>2</td> <td>10</td> <td>19.0</td> <td>95.0</td> <td>受け点数：P₀=4</td> </tr> <tr> <td>P2橋脚</td> <td>50.0</td> <td>7.0</td> <td>2</td> <td>10</td> <td>14.0</td> <td>70.0</td> <td>送出しヤード上の台車数：N₂₀=2 惜しみ箇所数：q₁₀=2</td> </tr> <tr> <td>P3橋脚</td> <td>50.0</td> <td>5.0</td> <td>2</td> <td>10</td> <td>10.0</td> <td>50.0</td> <td>橋りょう世話役：P₀≥4より2 橋りょう特殊工：</td> </tr> <tr> <td>P4橋脚</td> <td>40.0</td> <td>3.0</td> <td>2</td> <td>10</td> <td>6.0</td> <td>30.0</td> <td>(P₀×2)+2=(4×2)+2=10</td> </tr> <tr> <td>手延機・連結構</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>台車設備</td> <td></td> <td>9.5</td> <td></td> <td>4</td> <td></td> <td>38.0</td> <td>P₀÷2×N₂₀=4÷2×2=4</td> </tr> <tr> <td>惜しみ装置</td> <td></td> <td>9.5</td> <td></td> <td>4</td> <td></td> <td>38.0</td> <td>q₁₀×2=2×2=4</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>49.0</td> <td>321.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">誤)2 → 正)4</p>	施工箇所	移動距離 (m)	所要日数 (日)	労務編成		労務工数 (人)		備 考	橋りょう世話役	橋りょう特殊工	橋りょう世話役	橋りょう特殊工	P1橋脚	50.0	9.5	2	10	19.0	95.0	受け点数：P ₀ =4	P2橋脚	50.0	7.0	2	10	14.0	70.0	送出しヤード上の台車数：N ₂₀ =2 惜しみ箇所数：q ₁₀ =2	P3橋脚	50.0	5.0	2	10	10.0	50.0	橋りょう世話役：P ₀ ≥4より2 橋りょう特殊工：	P4橋脚	40.0	3.0	2	10	6.0	30.0	(P ₀ ×2)+2=(4×2)+2=10	手延機・連結構								台車設備		9.5		4		38.0	P ₀ ÷2×N ₂₀ =4÷2×2=4	惜しみ装置		9.5		4		38.0	q ₁₀ ×2=2×2=4	合 計					49.0	321.0	
施工箇所	移動距離 (m)	所要日数 (日)				労務編成		労務工数 (人)			備 考																																																																																																																																																
			橋りょう世話役	橋りょう特殊工	橋りょう世話役	橋りょう特殊工																																																																																																																																																					
P1橋脚	50.0	9.5	2	10	19.0	95.0	受け点数：P ₀ =4																																																																																																																																																				
P2橋脚	50.0	7.0	2	10	14.0	70.0	送出しヤード上の台車数：N ₂₀ =2 惜しみ箇所数：q ₁₀ =2																																																																																																																																																				
P3橋脚	50.0	5.0	2	10	10.0	50.0	橋りょう世話役：P ₀ ≥4より2 橋りょう特殊工：																																																																																																																																																				
P4橋脚	40.0	3.0	2	10	6.0	30.0	(P ₀ ×2)+2=(4×2)+2=10																																																																																																																																																				
手延機・連結構																																																																																																																																																											
台車設備		9.5		4		38.0	P ₀ ÷2×N ₂₀ =4÷2×2=2																																																																																																																																																				
惜しみ装置		9.5		4		38.0	q ₁₀ ×2=2×2=4																																																																																																																																																				
合 計					49.0	321.0																																																																																																																																																					
施工箇所	移動距離 (m)	所要日数 (日)	労務編成		労務工数 (人)		備 考																																																																																																																																																				
			橋りょう世話役	橋りょう特殊工	橋りょう世話役	橋りょう特殊工																																																																																																																																																					
P1橋脚	50.0	9.5	2	10	19.0	95.0	受け点数：P ₀ =4																																																																																																																																																				
P2橋脚	50.0	7.0	2	10	14.0	70.0	送出しヤード上の台車数：N ₂₀ =2 惜しみ箇所数：q ₁₀ =2																																																																																																																																																				
P3橋脚	50.0	5.0	2	10	10.0	50.0	橋りょう世話役：P ₀ ≥4より2 橋りょう特殊工：																																																																																																																																																				
P4橋脚	40.0	3.0	2	10	6.0	30.0	(P ₀ ×2)+2=(4×2)+2=10																																																																																																																																																				
手延機・連結構																																																																																																																																																											
台車設備		9.5		4		38.0	P ₀ ÷2×N ₂₀ =4÷2×2=4																																																																																																																																																				
惜しみ装置		9.5		4		38.0	q ₁₀ ×2=2×2=4																																																																																																																																																				
合 計					49.0	321.0																																																																																																																																																					